

山形県の古木・名木 No.98

餅杉 (もちすぎ)

南陽市宮内字羽山堂

「餅杉」は、宮内羽山権現参道の杉で、南陽市宮内の熊野大社から北へ約4.5 km奥に進んだところに巨大な大枝を張りだして立っている。

推定樹齢三百数十年で、根周り約6.4m、目通り幹周り4 m、高さ25mあり、昭和43年10月4日、市指定天然記念物に指定されている。

樹形は、当地方古来の天然杉の代表的なもので、かつて、羽山権現詣での茶屋で餅を売っていたことからこの名がある。現在は、行政と民間が協働で進める「草木の森」の一角、草木塔広場を静かに見下ろしている。

〔山形県森林協会〕

(案内略図)



【森林やまがた123号(2009年9月)記載】